

令和5年度 第2回唐津地域公共交通活性化協議会
議事要旨

日時：令和5年10月27日 10:00～
場所：唐津市役所4階大会議室



1. 開会

事務局：ただ今より第2回協議会を開催する。資料及び出席者確認（過半数出席により会議成立）。

2. 会長挨拶

会長：ご多忙のところ、ご出席に感謝する。1年を振り返るとコロナが収まったかというところで豪雨災害や豚熱が発生した。今年は大型台風の接近は無く、幸いであった。来週は唐津くんちも開催される。

本日は唐津地域公共交通利便増進実施計画について具体的な再編内容の報告を致したい。唐津地域公共交通計画に基づき、本計画を策定しているが、前回協議会では再編の方向性を報告している。ご周知のとおり、運転士不足や改善基準への対応等課題山積の中、地域の方々と協働して取り組むことが不可欠になってくる。今後の公共交通の構築について活発なご意見を頂戴したい。

3. 議題

(1) 唐津地域公共交通利便増進実施計画について

会長：計画の説明の前に、佐賀運輸支局から自動車運転者の現状についてご説明をお願いしたい。

運輸支局：(当日持参資料を説明)

昭和バスの再編については、人材不足に加えて2024年問題がある。やむを得ない部分

はあるが、利用者の理解が前提になる。こうした背景を元にして住民の方への説明をお願いしたいと思っている。

<質疑>

中道委員：P5のタクシー運転者数とP6の第二種普通免許保有者数とで数値が合わないのはなぜか。

運輸支局：P6は警察庁の統計から数値を引用したが、集計で普通免許を持ち、大型・中型免許も持たれている方は、その上位免許の方で集計しているため、数値が合わなくなっている。説明不足であった。

会 長：P1で一般路線バスの路線廃止距離約1.3万kmは、全体の何割程度にあたるのか。

運輸支局：今数値を持ち合わせていないため、後日回答する。

事務局：続いてこれまでの振り返りと再編案について説明する。(資料①を説明)

<質疑>

会 長：順を追って確認したい。P1～3について、ご意見、ご質問等をお願いしたい。

坂井委員：今回の資料にある分は来年4月再編ということで良いか。素案などで掲載されている北波多地域などの扱いはどのようになっているか。

事務局：ボリュームがあるため、今回説明分は来年4月～再編の分である。北波多地域等は追って協議会で議題としたい。

会 長：P4～9呼子線・湊線について、ご意見、ご質問等をお願いしたい。

坂井委員：P4にある大手口～唐津駅間の延伸は朝のみななのか。鉄道接続は、佐賀方面なのか福岡方面なのか。呼子線21時台で現在利用されている方の実態を教えてください。利用者が11人ということでその方々への影響があるのかを知りたい。

事務局：唐津駅への延伸について呼子線は全時間帯で乗入れを行う予定である。

昭和バス：呼子線21時台は高校生の部活動帰りの利用が主であると考えられる。

坂井委員：21時台が減便となると早い時刻の下校、送迎対応となるのか。

昭和バス：そうご対応いただくことになるかと思う。遅い時間の便は労務時間の関係から今回最も影響が出てきている部分である。高校や住民の皆様への丁寧な説明を心がけたいと考えている。

会 長：学校等への丁寧な説明をお願いしたいと思う。次にP10～13肥前フィーダーについてご意見、ご質問等をお願いしたい。

坂井委員：チョイソコからつの導入となると思うが、帰りの利用もチョイソコ利用となるのか。また域外からの利用の場合、乗り換えはどのように行うのか。

事務局：肥前方面の帰りの便は、19時までで検討している。主に通学者対象となると思うが、19時以降の時間は対応が難しい。教育委員会と話をしているところである。

坂井委員：肥前地区内の方というよりは地域外へ通学されている方が主な対象なのか。

事務局：チョイソコの利用範囲を限定しているだけであり、地区外の方も登録いただければ利用は可能。チョイソコと路線バス等を組み合わせて利用いただく形を考えている。

会 長：P14～20呼子フィーダーについてご意見、ご質問等をお願いしたい。

一 同：特になし

会 長：P21～23 有浦線についてご意見、ご質問等をお願いしたい。

坂井委員：有浦線のダイヤで、影響がある方の実態を教えてください。代替交通としてコミュニティバスとあるが、町外への利用にはどう対応するのか。上りの第 12 便（15 時 39 分発）は、利用が 18 人と多いが、これはどういう方々なのか。また、住民説明会等での周知方法について改めてお伺いしたい。

昭和バス：有浦線 7 時台の上り便で廃止するのは 7 時 29 分発の便である。資料の表記ミスである。7 時 43 分発のバス利用者の方には 8 時 02 分発のバスに乗ってもらう形となる。利用実態は通勤がメインであると考えられる。8 時 55 分発は買い物利用がメインであり、9 時 12 分発のバスに乗ってもらうことで大きな影響はないと考えている。いずれにしてもご利用いただいている方にご理解を頂くことが必要だと考えている。15 時 39 分発は、エネルギーパークから金の手間はコミュニティバスで代替、その先は 16 時 2 分入野発を利用頂く形となるが、利用実態は不明である。（金の手での乗車がほとんどであるため、青翔高校の利用であると考えられる）

玄海町：コミュニティバスを走らせているが、金の手での接続が悪いため、ダイヤの変更調整を考えている。

事務局：玄海町エリアの説明については、玄海町と連携して住民説明会等調整していきたい。

会 長：P24 以降の切木線、七山線について質問は無いか。

坂井委員：七山線の日中のデマンド化は、七山エリアのみの理解で良いか。

事務局：運行は地区内のみであるが、地区外の方でも登録すれば利用が可能である。日中の時間帯は細川～なのゆ区間は利用が少ないため、予約型に変更することにした。

会 長：全体を通して質問は無いか。

運輸支局：P30 の表でのまとめに関して、唐津市内線の見直しで運行本数が大幅に減少している。再編の概要について説明をお願いしたい。今回各地で再編するが、路線廃止が発生する区間等について、昭和バスから概要説明をお願いしたい。

昭和バス：完全に路線として廃止になる区間については、合計で 3 区間あり、玄海町内で 1 か所（値賀農協前～浜ノ浦間）、また仮屋地区内の石田入口～仮屋区間は昭和バスとしては廃止、コミュニティバスとして残る予定。肥前町の座川内～切木郵便局間も廃止である。市内線の大島地区は、再編案の経路図に誤りがあるが、フェリーターミナルまでの複乗は小加倉線での乗入れ、大島液化ガス～市民の森の区間が廃止となる。市内線は便数は大幅に減便となるが、大島地区の他路線の乗入れ、市民グランド付近も唐津伊万里線を用尺南経由とするなど、郊外からの路線で市内線部分をカバーすることとしている。

会 長：これから地域へ入って説明を行っていききたい。減便の対応等どうするか、チョイソコでのカバーなど、次回協議会では説明会での意見への対応、チョイソコの方向性等を説明したい。

事務局：今回は説明会の意見を踏まえた微調整後の計画案を承認頂く形で 1 月に協議会を開催予定である。

4. その他
特になし

5. 閉会

事務局：以上で、第2回協議会を終了する。